

景況調査（第107回 企業経営者の景気見通し）

三重県・愛知県主要業種の景気見通し

（2023年度上期実績見込み・2023年度下期見通し）

百五総合研究所では、半年ごとに三重県内及び愛知県内の主要業種の事業所の皆様に対し景気見通しのアンケート調査を実施し、結果をとりまとめています。

お忙しいなかご協力いただきました経営者の皆さまには厚く御礼申し上げます。

なお、2016年度上期より、愛知県分の調査結果につきましては、三重県分とは別にとりまとめています。

[目次]

調査の概要	1
I. 三重県	
調査結果の要旨	2
1. 業況判断	3
2. 売上高	6
3. 販売数量・在庫量	8
4. 販売価格・仕入価格	9
5. 採算・資金繰り	10
6. 設備投資	11
7. 雇用	15
8. 賞与	16
9. 賃金改定	17
10. 経営上の問題	18
II. 愛知県	
愛知県内の景気見通し	19
III. 特別調査	
①業況判断（四半期、水準）について	24
②仕入れの状況について	25
③リカレント教育・リスクリングの取り組み状況等について	27
④消費意識・消費行動の変化について	28
IV. 生の声	29

[調査の概要]

- 調査対象：
 - ①三重県内の事業所 1,033 先 (回答 450 先/回答率 43.6%)
 - ②愛知県内の事業所 337 先 (回答 91 先/回答率 27.0%)
 (合計調査対象数 1,370 先 (回答 541 先/回答率 39.5%))
- 調査時期： 2023 年 7 月中旬～7 月下旬
- 調査対象期間： 2023 年度上期 (23 年 4 月～9 月) 実績見込み (文中表記「今期」)
2023 年度下期 (23 年 10 月～24 年 3 月) 見通し (文中表記「来期」)
- 調査方法： アンケート票送付及びwebアンケート
- 回答状況

		三重県		愛知県		全回答	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
全企業		450	100.0%	91	100.0%	541	100.0%
規模別	大・中堅企業(資本金1億円以上)	55	12.2%	9	9.9%	64	11.8%
	中小企業(資本金1億円未満+個人事業)	395	87.8%	82	90.1%	477	88.2%
業種別	製造業	174	38.7%	28	30.8%	202	37.3%
	食料品(飲料含む)	21	4.7%	2	2.2%	23	4.3%
	繊維	5	1.1%	0	0.0%	5	0.9%
	印刷	8	1.8%	1	1.1%	9	1.7%
	石油・化学	13	2.9%	1	1.1%	14	2.6%
	窯業・土石	16	3.6%	2	2.2%	18	3.3%
	一般機器	34	7.6%	5	5.5%	39	7.2%
	電気機器	23	5.1%	1	1.1%	24	4.4%
	輸送用機器	25	5.6%	5	5.5%	30	5.5%
	その他製造	29	6.4%	11	12.1%	40	7.4%
	非製造業	250	55.6%	63	69.2%	313	57.9%
	建設	65	14.4%	13	14.3%	78	14.4%
	不動産	10	2.2%	6	6.6%	16	3.0%
	卸売	30	6.7%	13	14.3%	43	7.9%
	小売	40	8.9%	5	5.5%	45	8.3%
	運輸・倉庫	32	7.1%	10	11.0%	42	7.8%
	観光・宿泊	20	4.4%	1	1.1%	21	3.9%
	サービス(旅行代理店、情報通信、飲食店含む)	53	11.8%	15	16.5%	68	12.6%
	地場産業	26	5.8%	-	-	26	4.8%
製材	8	1.8%	-	-	8	1.5%	
真珠養殖	0	0.0%	-	-	0	0.0%	
真珠加工販売	4	0.9%	-	-	4	0.7%	
銑鉄鋳物製造	2	0.4%	-	-	2	0.4%	
萬古焼製造	3	0.7%	-	-	3	0.6%	
萬古焼卸売	9	2.0%	-	-	9	1.7%	
地域別	北勢	198	44.0%	-	-	198	36.6%
	中勢	129	28.7%	-	-	129	23.8%
	南勢	65	14.4%	-	-	65	12.0%
	伊賀	37	8.2%	-	-	37	6.8%
	東紀州	21	4.7%	-	-	21	3.9%
	愛知県	-	-	91	100.0%	91	16.8%

6. その他

○本文中の「BSI」とは、ビジネス・サーベイ・インデックスの略称。本調査では、下記の式で算出している。本調査では、前年同期と比べた「上昇」「下降」の変化方向を問うている。

$$BSI = \frac{\text{上昇(増加・好転)事業所数} - \text{下降(減少・悪化)事業所数}}{\text{有効回答事業所数}} \times 100$$

○調査対象は「事業所」であるが本文及び図表中では「企業」と表記している。

○年次は西暦表記とし、本文及び図表中では年次を西暦下2桁で表記している。

【調査結果の要旨】

業況感（前年同期比、変化方向）はほぼ横ばい。水準では2桁プラス。

【概況】

三重県内の企業の業況判断 BSI（前年同期比、変化方向）は、2023 年度上期は $\Delta 0.7$ となり、わずかなマイナスに転じたが、23 年度下期は $+1.6$ とややプラスに転じる見通しとなった。業況感は、前期の 22 年度下期（ $+0.9$ ）からほぼ横ばいで推移する見通し。

売上高 BSI は今期・来期ともプラスと、増収傾向で推移。最大の懸念事項であった仕入価格 BSI はプラス幅が縮小し、上昇傾向は落ち着きを見せ始めている。「経営上の問題」では、「原材料高」が 3 期連続の 1 位となったが、割合は低下した。仕入価格上昇分の 7 割以上を価格転嫁できている企業は 61.7%と、22 年 7 月の 48.2%、23 年 1 月の 58.9%から上昇した。価格転嫁の進展を背景に、採算 BSI はマイナス幅が縮小し、改善に向かいつつある。原材料・部品不足など「仕入れ難」にある企業は 29.3%と、22 年 7 月の 51.0%、23 年 1 月の 38.1%から低下し、供給制約は徐々に解消に向かいつつあるとみられる。

業況判断 BSI を業種別にみると、製造業は、今期（ $\Delta 2.3$ ）マイナス幅が縮小し、来期（ $+7.5$ ）はプラスに転じる見通し。石油・化学、食料品、窯業・土石は、今期・来期とも 2 桁プラス。価格転嫁の進展で採算が好転傾向。輸送用機器は、半導体不足の緩和による自動車生産回復等で、来期は 2 桁プラスの見通し。非製造業は、今期（ $+2.4$ ）3 期連続のプラスも、来期（ $\Delta 1.6$ ）はややマイナスに転じる見通し。観光・宿泊は、今期・来期とも全業種で最大のプラス。小売は、2 番目のプラス幅で、自動車の納期遅延解消やコロナ 5 類移行で需要増の企業が多くみられた。

なお、業況判断（水準、「良い-悪い」）では、非製造業は高水準、製造業もプラスで推移。（p.24）設備投資を実施する企業割合（投資額 500 万円以上）は、今期 46.4%となり、前期比ほぼ横ばい。3 期連続でコロナ禍前の水準を上回った。

人員不足感は、非製造業を中心に依然強い。人手不足には「採用強化で対応」の割合が上昇。賃上げ率は、回答平均で 3.30%と大きく上昇。特に、「ベースアップ」の割合が上昇した。

BSI		2022 年度 下期 (前期)	2023 年度 上期 (今期)	2023 年度 下期見通し (来期)
業況判断 BSI	今期わずかなマイナス、来期は再びプラス	0.9	$\Delta 0.7$	1.6
大・中堅企業	今期 2 期連続マイナス、来期は横ばい	$\Delta 3.8$	$\Delta 3.6$	$\Delta 3.6$
中小企業	今期わずかなマイナス、来期は再びプラス	1.6	$\Delta 0.3$	2.3
売上高 BSI	今期 3 期連続プラス、来期もプラス	19.9	6.9	8.9
販売数量 BSI	今期マイナス、来期は再びプラス	4.4	$\Delta 1.3$	2.0
在庫量 BSI	今期プラスでほぼ横ばい、来期はプラス幅縮小	4.2	4.7	2.3
販売価格 BSI	今期・来期ともプラス幅縮小	41.9	38.2	33.0
仕入価格 BSI	今期・来期ともプラス幅縮小	79.8	71.5	66.5
採算 BSI	今期・来期ともマイナス幅縮小	$\Delta 17.6$	$\Delta 9.6$	$\Delta 4.7$
資金繰り BSI	今期・来期ともマイナス幅やや縮小	$\Delta 8.1$	$\Delta 6.5$	$\Delta 4.2$
設備投資実施割合	今期 3 期連続でコロナ禍前水準上回る	47.2%	46.4%	48.8%
雇用過不足感	不足感は依然高水準でほぼ横ばい	51.5	49.6	—
※業況判断(水準)	23 年 4-6 月 (13.4) → 7-9 月 (15.0) → 10-12 月 (23.2) → 24 年 1-3 月 (18.5)			

(※) 過不足感は「不足」-「過剰」。「不足」は「不足」+「やや不足」の割合、「過剰」は「過剰」+「やや過剰」の割合。

1. 業況判断 (自社の属する業種の景気)

業況判断BSIはほぼ横ばい。今期わずかなマイナスに転じるも、来期はややプラスに。

◆全企業

業況判断BSI(前年同期比、変化方向)は、2023年度上期(以下、今期)は $\Delta 0.7$ 、23年度下期(以下、来期)は $+1.6$ となり、ほぼ横ばいで推移する見通し。

◆業種別 …製造業は、今期マイナスながらも改善、来期はプラスに。

非製造業は、今期プラスで推移も、来期はややマイナスに。

※ 今期BSIのプラス幅の大きい業種順に記載。

◇製造業 …今期($\Delta 2.3$)はマイナス幅縮小、来期($+7.5$)はプラスに転じる。

- 【石油・化学】 今期5期連続の2桁プラス。来期も2桁プラス。価格転嫁進み、値上げ一巡。来期は採算好転。化粧品、石鹼、フィルムなど受注が回復。
- 【食料品】 今期2期連続のプラスでプラス幅拡大、来期も2桁プラス。価格転嫁進み、採算好転(今期マイナス幅縮小)。観光・外食需要の回復が好影響。
- 【窯業・土石】 今期3期ぶり2桁プラス、来期も2桁プラス。価格転嫁進み、採算好転。
- 【印刷】 今期0.0に改善、来期は再びマイナス。
- 【輸送用機器】 今期マイナス幅縮小し、来期は2桁プラスに。来期は増収傾向。採算は改善傾向。半導体不足の緩和で自動車の生産回復。EV開発加速。
- 【一般機器】 今期マイナス幅は縮小、来期は横ばい。設備投資上向きで需要拡大。自動化設備の受注増。「仕入れ難」の割合は47.1%でやや高い(平均29.3%)。
- 【その他製造】 今期マイナス幅は拡大、来期は0.0に改善。
- 【繊維】 今期マイナス幅は縮小、来期は横ばい。
- 【電気機器】 今期5期ぶりマイナス、来期はプラスに。今期は採算厳しく。

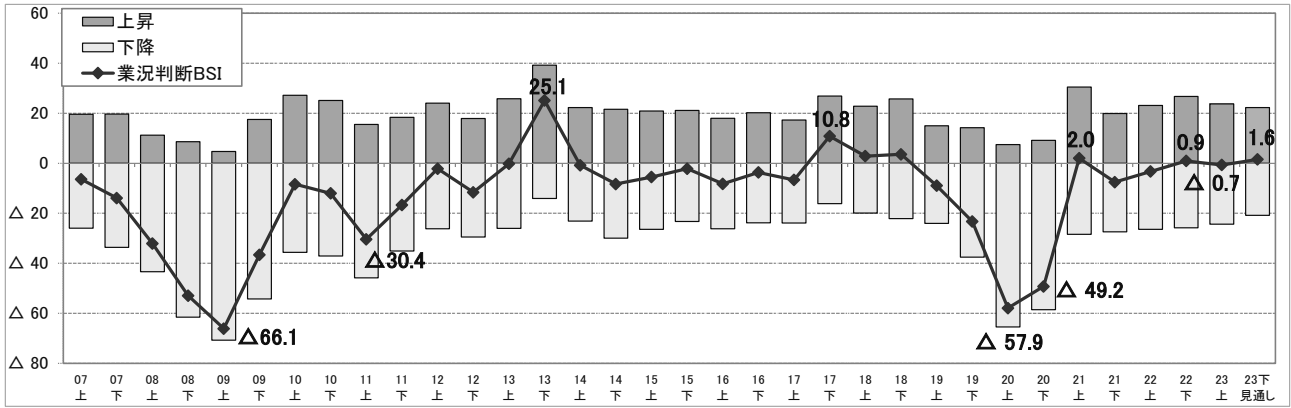
◇非製造業 …今期($+2.4$)は3期連続プラスでプラス幅縮小、来期($\Delta 1.6$)はややマイナス。

- 【観光・宿泊】 前期に続き、今期・来期ともプラス幅最大($+50.0 \rightarrow +45.0$)。販売価格上昇も仕入価格上昇の割合高い。コロナ5類移行、全国旅行支援効果で需要回復。来期も、需要増、値上げ、設備投資効果などにより好調を維持。
- 【小売】 今期プラス幅は2番目に大きく、来期も2桁プラス。価格転嫁進み、採算好転。自動車は、生産回復で納期遅延解消に向かい販売数増加。コロナ5類移行で、メイク用品、土産物、サービス業向け制服などの需要増加。
- 【サービス】 今期0.0に低下も、来期はプラス。飲食店、宅配ピザ、地質調査、クレジットカード、リース、労働者派遣、情報通信などで好調。
- 【不動産】 今期0.0で横ばい、来期はマイナス。但し、増収、採算好転傾向。
- 【卸売】 今期マイナスに転じ、来期はマイナス幅拡大。価格転嫁は進む。
- 【建設】 今期・来期ともマイナス幅拡大。今期・来期とも減収傾向。
- 【運輸・倉庫】 今期マイナスに転じ、来期は横ばい。「ほとんど価格転嫁できていない・販売先と交渉中」は45.0%(平均21.4%)と価格転嫁の進み鈍い。採算厳しい。

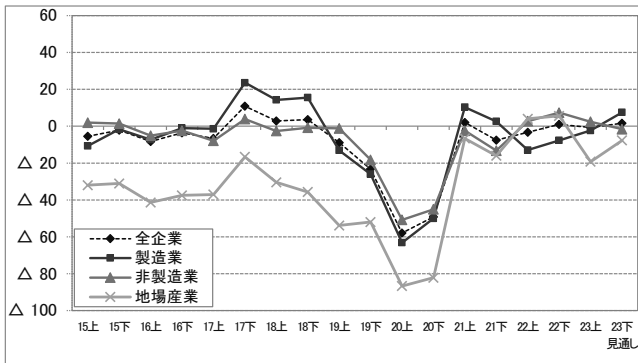
◇地場産業 …今期($\Delta 19.2$)は3期ぶりマイナス、来期($\Delta 7.7$)はマイナス幅縮小。

I. 三重県

■業況判断BSIの推移



■業況判断BSI（業種3区分別）



■業況判断BSI（業種別・企業規模別）の推移

		(前回調査時点)										
		19上	19下	20上	20下	21上	21下	22上	22下	23上 (見通し)	23下 (見通し)	
全企業		△ 8.9	△ 23.3	△ 57.9	△ 49.2	2.0	△ 7.5	△ 3.3	0.9	0.5	△ 0.7	1.6
規模別	大・中堅企業	△ 6.3	△ 23.8	△ 66.7	△ 47.2	35.3	△ 4.0	0.0	△ 3.8	0.0	△ 3.6	△ 3.6
	中小企業	△ 9.3	△ 23.2	△ 56.6	△ 49.5	△ 2.3	△ 8.0	△ 3.7	1.6	0.5	△ 0.3	2.3
業種別	製造業	△ 13.1	△ 26.0	△ 63.2	△ 50.0	10.3	2.6	△ 12.9	△ 7.7	0.5	△ 2.3	7.5
	食料品	0.0	△ 24.1	△ 37.8	△ 40.0	△ 21.4	△ 18.5	△ 4.0	3.8	15.4	19.0	14.3
	繊維	△ 12.5	△ 50.0	△ 87.5	△ 75.0	62.5	△ 16.7	△ 75.0	△ 50.0	△ 25.0	△ 20.0	△ 20.0
	印刷	△ 10.0	△ 33.3	△ 62.5	△ 88.9	10.0	△ 14.3	16.7	△ 50.0	△ 28.6	0.0	△ 12.5
	石油・化学	△ 14.3	△ 40.0	△ 64.7	△ 61.5	10.0	44.4	25.0	20.0	13.3	23.1	38.5
	窯業・土石	△ 7.1	△ 14.3	△ 57.1	△ 38.5	△ 9.1	10.0	△ 21.4	△ 18.2	27.3	12.5	18.8
	一般機器	△ 40.0	△ 23.8	△ 64.0	△ 71.4	22.2	△ 5.6	△ 7.1	△ 14.7	0.0	△ 6.1	△ 6.1
	電気機器	△ 6.7	△ 11.8	△ 85.7	△ 37.5	7.1	6.7	0.0	0.0	0.0	△ 26.1	4.3
	輸送用機器	△ 23.3	△ 39.1	△ 81.5	△ 38.5	41.2	8.7	△ 42.9	△ 16.7	△ 6.5	△ 4.0	20.0
	その他製造	△ 10.6	△ 20.9	△ 62.5	△ 48.9	△ 6.3	10.5	△ 15.4	△ 2.9	△ 8.8	△ 10.3	0.0
	大・中堅企業	△ 3.1	△ 38.2	△ 74.2	△ 46.2	50.0	4.5	△ 11.5	△ 3.8	0.0	8.3	8.3
	中小企業	△ 15.2	△ 23.1	△ 61.0	△ 50.7	3.5	2.3	△ 13.2	△ 8.3	0.6	△ 4.0	7.4
	非製造業	△ 1.2	△ 18.3	△ 50.8	△ 45.1	△ 2.4	△ 13.2	2.7	7.4	2.2	2.4	△ 1.6
	建設	1.2	△ 12.5	△ 23.0	△ 34.7	△ 11.1	△ 16.9	△ 7.7	△ 6.1	△ 15.2	△ 15.4	△ 18.5
不動産	△ 6.7	△ 15.4	△ 54.5	△ 53.8	△ 44.4	△ 20.0	△ 11.1	0.0	0.0	0.0	△ 10.0	
卸売	△ 6.3	△ 18.5	△ 63.3	△ 56.0	△ 4.2	△ 7.7	0.0	7.1	△ 3.6	△ 6.9	△ 13.8	
小売	△ 2.9	△ 48.5	△ 56.1	△ 21.4	2.6	△ 48.6	△ 17.1	0.0	7.7	32.5	17.5	
運輸・倉庫	3.7	△ 24.1	△ 76.0	△ 73.3	3.0	△ 11.1	△ 23.3	0.0	△ 11.1	△ 15.6	△ 15.6	
観光・宿泊	21.4	10.0	△ 100.0	△ 78.3	9.1	△ 8.3	64.3	88.2	52.9	50.0	45.0	
サービス	△ 8.7	△ 14.9	△ 40.7	△ 39.6	6.0	15.6	17.3	8.9	15.6	0.0	3.8	
大・中堅企業	△ 6.7	△ 3.6	△ 59.4	△ 48.1	22.2	△ 10.7	9.7	△ 3.8	0.0	△ 12.9	△ 12.9	
中小企業	△ 0.5	△ 20.2	△ 49.6	△ 44.7	△ 5.4	△ 13.6	1.8	8.8	2.4	4.6	0.0	
地場産業	△ 53.8	△ 52.0	△ 86.7	△ 82.1	△ 6.7	△ 16.0	4.0	5.6	△ 22.2	△ 19.2	△ 7.7	
製材	△ 66.7	△ 50.0	△ 57.1	△ 33.3	25.0	28.6	12.5	△ 28.6	△ 42.9	△ 75.0	△ 25.0	
真珠養殖	—	100.0	—	—	△ 100.0	—	100.0	100.0	100.0	—	—	
真珠加工販売	△ 25.0	0.0	△ 100.0	△ 100.0	0.0	0.0	△ 25.0	25.0	△ 25.0	25.0	25.0	
銑鉄鋳物	0.0	△ 75.0	△ 100.0	△ 100.0	100.0	△ 100.0	△ 100.0	—	—	△ 50.0	△ 50.0	
萬古焼製造	△ 60.0	△ 33.3	△ 100.0	△ 100.0	0.0	△ 40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
萬古焼卸売	△ 75.0	△ 75.0	△ 88.9	△ 90.0	△ 36.4	△ 37.5	14.3	25.0	△ 25.0	11.1	0.0	

※地場産業と繊維、印刷はサンプル数が少ないため指数の振れに注意する。—は回答がなかったことを示す。

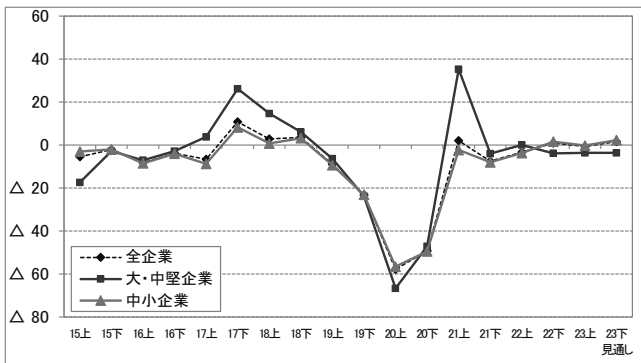
◆企業規模別 …大・中堅企業、中小企業ともにほぼ横ばい。

業況判断 BSI を企業規模別にみると、大・中堅企業は、今期・来期ともマイナスでほぼ横ばい。中小企業は、今期わずかにマイナスも来期はプラスの見通し。

製造業は、大・中堅企業は今期・来期ともプラスで推移し、中小企業も上向き傾向。

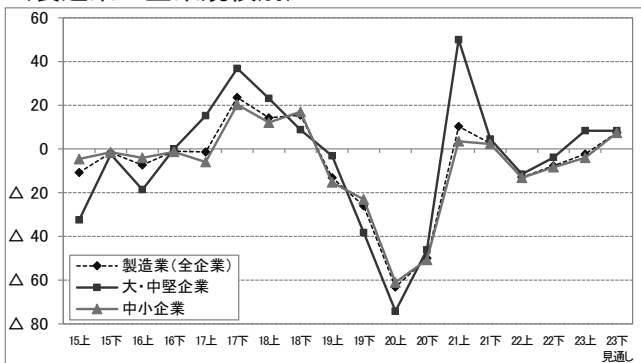
非製造業では、大・中堅企業は今期・来期ともマイナス、中小企業はプラス幅縮小。

■業況判断BSI（企業規模別）

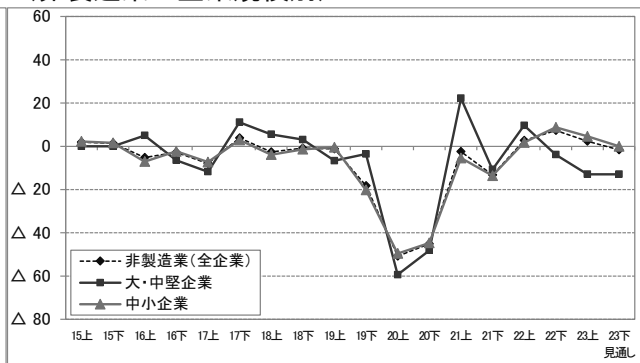


※左図のデータには、地場産業を含む

（製造業・企業規模別）



（非製造業・企業規模別）



◆地域別 …南勢地域は観光・宿泊の影響で今期・来期ともプラス。北勢もプラスで推移。

業況判断 BSI を地域別にみると、南勢地域は、今期3期連続のプラスで、来期もプラスが続く見通し。南勢地域は、今期・来期とも最大のプラスとなった観光・宿泊の割合が高いことが影響。北勢地域も、今期は2期連続のプラスで、来期もプラスの見通しとなった。東紀州地域は、今期・来期とも2桁マイナスで、マイナスが続く建設の影響が大きい。

■業況判断BSI（地域別）の推移

	(前回調査時点)										
	19上	19下	20上	20下	21上	21下	22上	22下	23上 (見通し)	23上	23下 (見通し)
全地域	△ 8.9	△ 23.3	△ 57.9	△ 49.2	2.0	△ 7.5	△ 3.3	0.9	0.5	△ 0.7	1.6
北勢地域	△ 12.0	△ 33.3	△ 63.6	△ 55.8	4.7	△ 5.7	△ 0.5	2.3	3.4	5.1	5.1
中勢地域	△ 6.5	△ 15.9	△ 61.4	△ 42.0	15.5	△ 6.1	△ 7.0	△ 1.6	△ 4.9	△ 3.9	△ 0.8
南勢地域	△ 4.9	△ 11.1	△ 66.2	△ 62.7	△ 16.7	△ 13.1	16.2	23.4	20.3	6.3	9.4
伊賀地域	△ 8.1	△ 21.3	△ 40.4	△ 41.7	△ 5.0	0.0	△ 28.2	△ 7.9	△ 12.8	△ 10.8	△ 2.7
東紀州地域	△ 6.7	△ 14.3	△ 17.6	△ 19.4	△ 11.1	△ 18.8	△ 20.0	△ 34.5	△ 20.7	△ 38.1	△ 33.3